

主编◎王润芳



新编

にほんご

# 日本語 中级阅读教程

- 撷取热门流行题材
- 紧扣日语能力2级考试、日语专业4级考试
- 精心配备专项训练题和重点、难点详解
- 积累知识，开拓视野

东华大学出版社

新編

# 日本語中級閱讀教程

王潤芳 主編

東華大學出版社

**图书在版编目(CIP)数据**

新编日本语中级阅读教程/王润芳主编. —上海: 东华大学出版社, 2008. 1

ISBN 978-7-81111-326-6

I. 新... II. 王... III. 日语—阅读教学—水平考试—自学参考资料 IV. H369

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2007)第 202363 号

---

新编日本语中级阅读教程

王润芳 主编

东华大学出版社出版

上海市延安西路1882号

新华书店上海发行所发行

苏州望电印刷有限公司印刷

开本: 850 × 1168 1/32 印张: 7.875 字数: 266千字

2008年2月第1版 2008年2月第1次印刷

印数: 0 001 ~ 5 000册

---

ISBN 978-7-81111-326-6/H · 135

定价: 18.00元

## 前 言

外语学习需要大量地阅读各个领域的难度适中的文章。阅读过程中可以自然地吸收很多有用的语言材料和语言知识,有助于了解该语言国家的经济、政治、文化、社会等等。

同时,阅读能力的高低逐渐成为衡量一个外语学习者外语水平高低的重要标准。在日语能力测试中,阅读部分所占的比重也比较大,分值较高,成为影响考生综合成绩的关键。因此,尽快尽早提高学生的阅读水平成为刻不容缓的任务。

本书的编写主要是为了满足这一需求。本书适合大学二、三年级的学生以及备考日语二级能力测试的学生阅读。

书中的主课文部分主要来源于日本的报纸、杂志,体裁包括记叙文、说明文、议论文、随笔、对话等。内容丰富新颖,形式多种多样。主课文后附有单词解释、句型说明、围绕文章内容的提问等。这便于学生学习新词新句,掌握二级词汇和语法,也有利于学生更好地了解日本社会的方方面面以及中日两国的经济文化交流的情况。

每一课除了主课文之外还有一篇或几篇副课文。副课文主要选用日语二级能力测试的阅读文,阅读文有长有短,体裁包括说明文、记叙文、议论文等,便于学生熟悉各种类型的文章,全面提高自己的阅读水平。同时,每一篇文章的后面配有答案和解释,这可以使 学生独立地进行日语二级的阅读练习,找出弱点,弥补不足,为

以后参加一、二级日语能力测试奠定基础。

希望通过本书的学习,使学生把课堂学习和备考日语二级能力测试有机地结合起来,达到事半功倍的效果。

本书在编写过程中参考了大量的国内外书籍文献,并且得到了刁鹏鹏、王玉珊、孙衍国、刘佳等老师的帮助,在此一并表示谢意。

由于作者的水平、经验有限,本书中的不足之处在所难免,望各位专家、读者批评指正。

**编者于大连**

# 目 录

|        |                              |     |
|--------|------------------------------|-----|
| 第 1 課  | 再び桜                          | 1   |
| 第 2 課  | 日中間の本格対話再開に向けての基本姿勢を<br>論ずる  | 10  |
| 第 3 課  | 「中日平和の使者に」——中日の大学生が友好<br>へ提言 | 19  |
| 第 4 課  | 満員電車                         | 24  |
| 第 5 課  | 日本企業の人事管理制度                  | 31  |
| 第 6 課  | 格差是正へ実効ある政策を論じよ              | 37  |
| 第 7 課  | 生産性上昇に向けた挑戦                  | 44  |
| 第 8 課  | 少子化                          | 51  |
| 第 9 課  | 団塊世代の退職始まる                   | 60  |
| 第 10 課 | 介護付き有料老人ホームに代わるニュー<br>ウェーブ   | 69  |
| 第 11 課 | 原発の耐震性 最新の知見で安全を確認せよ         | 77  |
| 第 12 課 | STOP 飲酒運転                    | 85  |
| 第 13 課 | 「偉いもの事情」                     | 94  |
| 第 14 課 | 親心 食の安心                      | 102 |
| 第 15 課 | 大学改革の行き着く先は                  | 110 |
| 第 16 課 | アニメ学科急増                      | 118 |

|        |                |     |
|--------|----------------|-----|
| 第 17 課 | パソコンの功罪        | 124 |
| 第 18 課 | 近づく「カメラ」だらけの社会 | 132 |
| 第 19 課 | TVコマーシャルの話し    | 139 |
| 第 20 課 | 省エネ社会          | 147 |
| 第 21 課 | 分相応と分不相応       | 154 |
| 第 22 課 | 何もしない贅沢        | 161 |
| 第 23 課 | むっつり効果         | 169 |
| 第 24 課 | 異文化理解としての国際結婚  | 175 |
| 第 25 課 | 鯨のはなし          | 185 |
| 第 26 課 | 平和への祈りと深呼吸の効果  | 192 |
| 第 27 課 | 旅              | 199 |
| 第 28 課 | スーツの話          | 206 |
| 第 29 課 | ネパールのビール       | 213 |
| 第 30 課 | 夏の風物           | 223 |
| 参考答案   |                | 229 |

## 再び桜

今日は4月15日、東京の桜は散りはじめ、いたる所で花吹雪が見られます。世の中の不景気を吹き飛ばすような染井吉野の艶姿を見ているうちに、私はかつて北京で友人と交わした花談義を思い出しました。私は中学校3年から大学を卒業するまで、10年間を北京で過ごしました。東西冷戦の最中で、緊張した毎日でしたが、それでも学生たちはそれなりに生活をエンジョイしていました。当時の中国は外国との交流はあまりありませんでした。でも周りの学生たちはけっこう外国のことを知っていて、日本人の桜好きのことも知っていました。

北京大学在学中の春のある日、学友の1人がおもしろい議論をふっかけてきました。「やっぱり日本人は桜そのものだな、国民性といい、思考方法といいまさに桜だ。ところで君は中国人を花にたとえればなんの花だと思う」というのです。私たちは「花と国民性」について大いに議論しました。

彼の意見によると、日本人は桜、中国人は牡丹だといいます。桜はパッと咲いてパッと散る、咲くときも一緒、散るときも一緒です。散り方が美しいです。一輪一輪の花はこれといった特徴はなく、目立たないですが、樹全体、林全体の花となると圧倒されるような華麗さと迫力があります。つまり日本人は、行動様式が集団主義的で、規律を重んじ、集団からはみ出すことはしません。1人ひとりの個性はありませんが、集団では大きな力を発揮するというのです。

一方中国人は、個性が強くあまり集団行動は好みません。他人と同じことをするより独創的なことをしたいという意識が強いです。牡丹という花は、同じ木の花でも咲く時期は一緒ではないし、形や色が微妙に違う。同じ木の花同士妍を競う。だから中国人的だという







## 一 単語

|                  |      |            |
|------------------|------|------------|
| 花吹雪(はなふぶき)       | [名]  | 飞雪似的落花     |
| 染井吉野(そめいよしの)     | [名]  | 比较常见的樱花的一种 |
| 艶姿(えんし)          | [名]  | 娇艳的姿态      |
| 東西冷戦(とうさいれいせん)   | [名]  | 东西冷战       |
| ぶっかける            | [动]  | 挑衅,找碴儿     |
| 目立つ              | [动]  | 显眼,引人注目    |
| 圧倒する(あつとうする)     | [动]  | 压倒,胜过      |
| 華麗(かれい)          | [形动] | 华丽         |
| 迫力(はくりょく)        | [名]  | 扣人心弦       |
| 行動様式(こうどうようしき)   | [名]  | 行动方式       |
| 集団主義(しゅうだんしゆぎ)   | [名]  | 集体主义       |
| 規律(きりつ)          | [名]  | 规律         |
| 發揮する(はつきする)      | [动]  | 发挥         |
| 個性(こせい)          | [名]  | 个性         |
| 独創的(どくそうてき)      | [形动] | 独创性的       |
| 妍(けん)            | [名]  | 美丽,妍       |
| 競う(きそう)          | [动]  | 竞争         |
| 自己主張(じこしゅちょう)    | [名]  | 自我主张       |
| 定評(ていひょう)        | [名]  | 公认         |
| 印象(いんしょう)        | [名]  | 印象         |
| 世代(せだい)          | [名]  | 一代,年代      |
| 犠牲(ぎせい)          | [名]  | 牺牲         |
| 粉骨碎身する(ふんこつさいしん) | [动]  | 粉身碎骨       |
| 後ろめたい(うしろめたい)    | [形]  | 负疚,内疚      |
| 組織(そしき)          | [名]  | 组织,机构      |
| 縛る(しばる)          | [动]  | 捆绑         |
| 嫌う(きらう)          | [动]  | 讨厌         |



|               |      |                |
|---------------|------|----------------|
| 権利(けんり)       | [名]  | 权利             |
| 堂々(どうどう)      | [形动] | 堂堂正正, 威风凛凛     |
| 制約(せいやく)      | [名]  | 限制, 规定         |
| 年配者(ねんぱいしゃ)   | [名]  | 年长的人           |
| 新人類(しんじんるい)   | [名]  | 新人类, 80年代后半期兴起 |
| 絢爛(けんらん)      | [形动] | 绚丽             |
| 席卷する(せつけんする)  | [动]  | 席卷             |
| 基礎(きそ)        | [名]  | 基础             |
| 引き継ぐ(ひきつぐ)    | [动]  | 继承             |
| 切に(せつに)       | [副]  | 殷切地            |
| 必至(ひつし)       | [名]  | 必定             |
| エンジョイする       | [动]  | 享受             |
| ジェネレーション・ギャップ | [名]  | 代沟             |
| グローバリズム       | [名]  | 地球主义           |

## 二 句型表現

### 1. ～うちに ……着……着

- (1) 世の中の不景気を吹き飛ばすような染井吉野の艶姿を見ているうちに、私はかつて北京で友人と交わした花談義を思い出しました。
- (2) あの子は話しているうちに顔が真っ赤になりました。
- (3) 読み進むうちに次第に歴史小説にのめりこんでいった。

### 2. それなり 相应

- (1) 学生たちはそれなりに生活をエンジョイしていました。
- (2) 努力をすればそれなりの成果は上がるはずです。
- (3) 学生たちもそれなりに力をあわせて頑張っています。

### 3. ……といい……といい ……也好……也好

- (1) やっぱり日本人は桜そのものだな、国民性といい、思考方法といい、まさに桜だ。



(2) 男の子といい、女の子といい、遊んでばかりで、全然勉強しようとしなない。

(3) これは質といい、デザインといい、申し分のないスーツです。

#### 4. これといった / これといって (没有) 特別的

(1) 一輪一輪の花はこれといった特徴はなく、目立たないが、樹全体、林全体の花となると圧倒されるような華麗さと迫力がある。

(2) 美術展覧会に行ったが、これといっておもしろい作品には出会わなかった。

(3) 初めて車を運転するので少し不安だったが、これといって事故もなく無事に帰ってきた。

#### 5. ~という 听说

(1) 一人一人の個性はないが、集団では大きな力を発揮するというのです。

(2) あの人は卒業後田舎へ帰って小学校の教師をしているという。

(3) この島の人々は北から渡ってきたのだという。

#### 6. ~より 与其……不如

(1) 他人と同じことをするより独創的なことをしたいという意識が強い

(2) 円高のせいで、国内旅行よりもむしろ海外へ行くほうが安くつくという逆転現象が起こっている。

(3) 大都会で働くより地方の中小都市で働きたいと考える人が増えてきている。

#### 7. ~つつある 正在

(1) 時代が進み、世代が変わる中で、「桜」の日本人は変わりつつあります。

(2) この国の経済は現在成長しつつある。

(3) その時代は静かに終わりつつあった。



8. ～ほど 甚至达到……程度

- (1) 公休をとるのも何となく後ろめたさを感じるほど「会社人間」が多かったのです。
- (2) そのことを聞いて、弟は飛び上がるほど驚きました。
- (3) 町中を足が棒になるほど歩き回りましたが、探していたテープは見つかりませんでした。

9. ～切れない 不能完全

- (1) 年配者の中には何となく割り切れない人がいることも事実です。
- (2) それはいくら悔やんでも悔やみきれないことだった。
- (3) 先輩との別れは、あきらめきれないつらい思い出として、今でも私の胸の奥底にあります。

10. ～に加え 加上……,而且

- (1) 若い世代は本来の伝統的文化に加え、グローバリズムが席卷する中で、さまざまな文化の影響を受けるのは必至です。
- (2) 強い雨にくわえ、台風に見舞われて、被害が拡大しました。
- (3) 私たちは日々の宿題に加え、毎週金曜日にはレポート提出を義務付けられていた。

11. いくら…でも 无论……也……

- (1) 私はいくら時代が変わり、世代が変わっても、「桜」と「牡丹」はそれぞれよき伝統は引き継いでもらいたい。
- (2) いくら頑張っても追いつけない。
- (3) いくら給料が高いといっても、残業がそんなに多いのでは就職するのは嫌です。

12. なにより 最……

- (1) なによりも仲良くしてもらいたいと切に願います。
- (2) 先生から励ましの言葉をいただいたことに、何より感激いたしました。
- (3) 友達とバーベキューに行くのは何よりの楽しみです。



### 三 質問

1. なぜ日本人は桜だといえますか。
2. 中国人は何と喩えられていますか。どうしてですか。
3. 時代が変わることにしたがって日本人の意識はどう変わってきましたか。
4. 「牡丹」の中国人はどう変わりましたか。
5. 「花と国民性」についてどう思いますか。

### 四 読解練習

これは、フランスで実際にあった話である。パリのある下町に、たいへん欲の深い肉屋がいた。毎日の食事や衣服を節約したり、女房にまでケチでとおした肉屋は、たいへんな財産をたくわえているというのでも有名だった。

ある日、その肉屋に、12歳ぐらいの女の子が肉を買いにやってきた。500フランの代金を払うというときになると、その女の子は「しまった。お金を忘れてきちゃった。おじさん、あとでお金持ってくるから、①これちょっと預かって」といって、もっていたバイオリンをその肉屋にわたしていった。彼は、何気なく、そのバイオリンを店の隅のほうに置いておいた。

さて、それから30分くらいすると、一人の老紳士が、肉を買いにやってきた。1キログラムの牛肉を買い、代金を支払って店を出ようとした時、その老紳士が、②店の隅にたてかけてあるバイオリンを見た。それを手にとり、じっくり見てから、大声でいった。

「このバイオリンはすばらしい。ストラディバリウスという世界的な名器だ。50万フランで買いたい。ぜひゆずってくれませんか」と熱心に肉屋に頼むのだ。

だが、肉屋にしてみれば、自分のバイオリンではない。売るわけに



はいかない。そこで、肉屋は、持ち主の女の子に話して自分が買い受けてからこの老紳士に売ろうと考え、「明日の9時にもう一度ここへ来てください。③お譲りしましょう」といって、その老紳士を帰した。

例の女の子は、すぐ戻ってきた。肉の代金を支払い、バイオリンを受け取って帰ろうとした。「ねえ、そのバイオリン、④おじさんに売ってくれないかね。あまりよいバイオリンじゃないけれど、うちの子もバイオリンをこれから始めるので一つ欲しいんだよ」

女の子が、しぶしぶうっててもよいと言う返事をしたとき、肉屋は「しめた。女の子をだました」と内心大喜びである。彼は5万フランでそのバイオリンを彼女から譲り受けることに、まんまと成功した。先ほどの紳士に、50万フランで売れば、45万フランの儲けだ。彼が喜んだのも当然だ。肉屋は、その女の子をだまして悪いと思ったのか、先ほどの肉の代金を返してやった。彼の良心が、子供をだますことをよしとしなかったのであろう。

肉屋は、紳士のやってくるのを待った。だが、その老紳士は翌日の9時になっても⑤やっこなかつた。老紳士と女の子による計画的なサギであったのである。

サギにあう人たちの中には、この肉屋のように、一攫千金を夢みる、けちな人、欲の深い人が多い。こどもをだまして、45万フラン儲けようという“欲”が、物事を冷静に見る目を失わせてしまったのである。

(注1) 欲: お金や物などを欲しがる気持ち

(注2) サギ: 人をだまして、物やお金を手に入れること

【問1】 ①「これ」とは何か。

- |          |        |
|----------|--------|
| 1 500フラン | 2 買った肉 |
| 3 バイオリン  | 4 衣服   |

【問2】 ②「店の隅にたてかけてある」とあるが、だれがたてかけたのか。



- |       |              |
|-------|--------------|
| 1 肉屋  | 2 肉を買いに来た女の子 |
| 3 老紳士 | 4 肉屋の子       |

【問3】③「おゆずりしましょう」とあるが、だれがだれにゆずるのか。

- |            |             |
|------------|-------------|
| 1 女の子が肉屋に  | 2 肉屋が老紳士に   |
| 3 女の子が老紳士に | 4 肉屋の子が老紳士に |

【問4】④「おじさん」とはだれか。

- |             |       |
|-------------|-------|
| 1 ストラディバリウス | 2 肉屋  |
| 3 女の子のおじさん  | 4 老紳士 |

【問5】⑤「やってこなかった」とあるが、それはなぜか。

- 1 50万フランを用意できなかったから
- 2 バイオリンが欲しくなくなったから
- 3 肉屋からお金を手に入れたから
- 4 ほかに用事ができたから

【問6】肉屋は、女の子にバイオリンの代金としていくら渡したか。

- |            |          |
|------------|----------|
| 1 50万フラン   | 2 45万フラン |
| 3 5万500フラン | 4 5万フラン  |

【問7】肉屋についてこの文章からわかることは何か。

- 1 お金を儲けることがとても好きである。
- 2 老人をだますことがとても好きである。
- 3 子供をだますことがとても好きである。
- 4 バイオリンを買うことがとても好きである。

【問8】この文章で筆者が一番言いたいことは何か。

- 1 大人は子供にだまされやすい。
- 2 子供をだますことはよくない。
- 3 欲の深い人ほどだまされやすい。
- 4 欲の深い人をだますことはよくない。



## 日中間の本格対話再開に向けての基本姿勢を論ずる

常に欧米に後れを取ってきた「古いアジア」を壊し、「台頭するアジア」「新しいアジア」を建設するには、日本と中国が連帯し、協力し合う以外に道はないことを指摘した。

では、具体的にどうすればよいのか？ それは冷静に、合理的に日本にとっての中国、中国にとっての日本の「意味」をしっかりと認識しあうことであろう。そしてその上でしっかりとした協力関係の基盤を再構築することである。そのためのいくつかのポイントを整理しておきたい。

日中両国はそれぞれ発展し、安定し、繁栄していくために、既に相手国が自らにとって必要な存在になっている現実をしっかりと認識することである。

日本の貿易相手国1位が米国から中国に替わったこと、2万を超える日系企業が中国の地で経済活動をしていること、逆に中国における大量の雇用創出や技術革新に日本経済が重要な貢献をするようになったこと、中国の環境・生態系保護、「和諧社会」の実現、各分野での人材育成などに日本の役割は欠かせないことなどがすぐに思い浮かぶ。

双方の秀でている点は必ずしも競争的なものではなく、むしろ相互補完的なものが多いということを認識し、それぞれの長所で以って相手側の短所を補う関係を制度化することができれば、まさに「プラス・サム」の関係を構築することができるとの認識が必要である。

中国の宇宙開発技術、東洋医学などはこれからの日本が学ぶべき分野であろうし、日本の新幹線技術、省エネ技術などは中国にとって